

志岐武彦
山崎行太郎

最高裁の 罠

the Trap
for Ozawa



小沢裁判では、検察・マスコミ・
米国支配等々の暗部が
次々と暴かれていった。

しかし[最高裁]は、
守秘義務や非公開の原則等により
闇の奥に閉ざされたままである。

本書は、その「窓のない、黒くて、
ぶ厚い石の壁」に挑んだ記録だ。

K&Kプレス

「小沢一郎検察審査会」は
本当に開かれたのか!?